



# 北葛だより みっちゃんの宅急便 今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県議会議員団  
奈良市登大路町30奈良県議会内 Tel.0742(27)5291

今井光子ホームページ

今井 光子 広陵町馬見北3-4-25 Tel&Fax0745(55)8725

http://mituko-imai.jp  
メールアドレス:mituko38@amber.plala.or.jp

## 幸せの根源は平和

森 光子さん

俳優の森光子さんが昨年11月10日、亡くなりました。92歳でした。森さんは生前、「戦争を知る人は幸せの根源は平和だと大きな声で言うべきではないか」といつも思っています」と語っています。

12月議会で代表質問

代表質問に立つ今井光子県議



### 平和のために貢献する奈良県に

民主党政権で「武器3原則」が見直され、自民党も維新の会も、尖閣、竹島問題、国防軍、憲法改正を公約に掲げる衆議院選挙の真っ只中、12月7日、代表質問で荒井知事に“奈良県が平和についてどういった貢献ができるのか”と質問しました。

上牧町の9月議会で「治安維持法国家賠償請求を求める意見書」が決議されたことを紹介し、「戦前、共産主義者や自由主義者など、少しでも違う意見を言う人を弾圧し、自由に物が言えなくなり、国民の自由や民主主義を奪うなかで戦争が始まっていった。二度と同じ過ちを繰り返さないために、奈良県は「国際文化観光平和県宣言」をしている。この奈良県で平和のために何かできるのか」とたどしました。

荒井知事は、「平和はいつの時代でも大切。東アジアの地方政府と交流する中で平和を築いていきたい」と答弁しました。

### がん対策について がん検診率の抜本的向上を!

がん対策について質問しました。2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで命を落とす時代。わたしは自ら早期発見で

がんが見つかった事を紹介しながら、検診受診率が全国平均以下(【健診・人間ドック】奈良県60.5%、全国平均64.3%、【乳がん検診】奈良県18.9%、全国平均21.2%:2010年)である奈良県の遅れた検診率向上対策、がん対策を前進させるよう求めました。

また高額な医療費がかかるために治療が続けられない事例をあげて、外来通院の高額医療費制度の見直しや、国民健康保険法44条の窓口減免制度を外来にも広げ住民に知らせるように求めました。

県はがん検診率50%をめざして「がん撲滅キックオフ宣言」をおこない早期発見に取り組むこと、また高額医療費については国で見直し議論が始まっている事、医療費の窓口減免制度は、この1月に入院については奈良県の全自治体で制度が実現したことを明らかにし、外来についても今後、広げていくよう市町村に伝えると答えました。

●仕事をやめたり、商売の廃業、病気や災害被災など急な収入減となったときの国保医療費の窓口減免制度が、入院については県内すべての市町村で実施されました。

通院についても、すべての市町村で実施されるよう、引き続き求めていきます。

### リストラアセスメント条例の制定を

日本の産業を支えてきた家電メーカーの大量リストラで、奈良県でもシャープのリストラが行われました。

労働行政は解雇されずにいる場合は労働基準監督署など指導対象ですが、不当なリストラでも同意した場合は訴訟しかありません。リストラアセスメント条例は整理解雇4要件(「1、差し迫った必要性、2、解雇回避の努力、3、選定基準、人選の合理性、4、手続きの妥当性、労働者、労働組合の協議など」)は判例で示されています。これを県条例にする事で不当解雇をなくすべきと求めました。県は「条例になじまない。県としては相談窓口の設置など対応していく」と答弁しました。

今回、シャープ労働者で退職した県内在住者は781人のほります。

共産党県議団から議席になってそれぞれ分担ができるようになり、常任委員会は、産業や雇用について議論する経済労働委員会に所属を希望して議論に参加しています▼今、安倍内閣のもとで「景気の回復」がいられています。とはいえ、海外の投資家だけが儲かって、小銭で株をやっているお年寄りなどは数字とにらめっこ、「株価があがった」などと喜んでいても結局は何に使うわけでもないのです▼赤字国債で借金を増やし、物価を上げて、賃金や家計の経済がよくならなければ、国民の懐をあたためなければ、企業がせつかく作ったものが売れません▼以前、県の産業政策に農業が入っておらず、景気が悪くても食糧なくては生きていけないと、県農業を支援し直売所をもっと広げるべきと提案していましたが、この取り組みが広がっていません。県民のニーズにこたえるものをとれただけ地元で作るのか▼今、木材や森林にはまっています。奈良県の7割を占める森林が活性化すれば、どれほど多くの恵みをもたらしてくれるか計り知れません。今年もよろしくお願いたしま

SAYAKO

みなさんの疑問を投げかけ、願いを届けて

# 大きく県政を動かしています

## 「消防広域化」は地元の意見を聞いて!

奈良県が進めている消防広域化は奈良市と生駒市が脱退した37市町村で実施していく計画が進んでいます。広域行政対策特別委員会で、今井県議は「これまで、市町村によって、議会に説明されているところと、まったくされていないところとばらつきがある。県がしめすスケジュールでは市町村議会で議題となる(議論がされる)のは広域化が決定して予算を決める段階になってからとなっており、首長が議会での議論よりも先に広域化の「調印」をするというやり方はあべこべで、見直すべき」と主張していましたが、12月の委員会で来年の6月議会を経て7月に調印となるという日程に変更するとの報告がありました。市町村消防からも同様の意見が多くだされていたことも報告されました。

県の計画は本部機能(通報受信や事務機能)を統一する事で人を減らし現場に手厚く配置すると説明がされています。ところが、県計画の全体を見ると200人を削減し、現場に配置されるのは130人程度。その差70人ほどの人員削減がされるというものです。奈良県の市町村消防の現状は「消火」対応よりも「救急」対応の電話が圧倒的に多く、平均15分に1度の電話が入っています。ここの対応を機械化して減らせば救急がつかない事も心配されます。また火災は初期消火が一番。地元の地理を良く知っている消防職員が欠かせません。

消防の広域化で、本当に良くなるのでしょうか。いっしょによく議論をしていきましょう。

## 再生可能エネルギーの担当課が設置されます

3・11(東日本大震災と福島原発事故)を受け、6月経済労働議会で今井県議は「原発に反対でも賛成でも、これからは自然エネルギーの時代、奈良県でも担当課を設けて研究すべきではないか」と提案していました。これは脱原発議連の統一要求として知事に申し入れていましたが、2月の委員会で産業雇用振興部長が専門の課を設置する事を明らかにしました。



●2014年度の予算編成にむけて、不要不急の事業を抜本的に見直し、県民の暮らし、福祉応援の施策推進を求める要望書を提出。知事と懇談しました。



●川上村高原地区では紀伊半島大水害時に発生した大規模な深層崩壊の影響で、未だに川が清みません。アマゴ養殖や釣りの業がなりたらず、塩谷村議とともに現場を視察。

今井議員の政策や論戦、議会質問にご意見、要望をお寄せください



## 県営水道140円→130円に引き下げ 市町村水道料金引き下げに直結を

県営水道料金を現行140円から130円に、契約水量を超えた分はさらに90円に下げるとする県条例が決まりました。

共産党県議団は県営水道料金が高いとの声を市町村からたくさん聞いていましたので、引き下げ条例に賛成。そのうえで、県水の引き下げが市町村水道料金に直接反映できるよう支援を求めました。

## 民主的な選挙制度の実現を求める意見書を採択

今回の総選挙でも有権者の2割の支持しかない自民党が8割の議席を得ました。大きな取り組みにいきましょう。

### 意見書第19号

#### 民意を反映した衆議院選挙制度への改革を求める意見書

現在の衆議院選挙制度は小選挙区を中心とした制度であるが、2009年の衆議院選挙で最大2・30倍となった「1票の格差」が憲法状態であると最高裁で判断されたことをはじめ、「死票」が多いこと、少数意見が反映されず大政党に有利に働くことなど問題点が多く、民意を正確に反映しないという致命的な欠陥をもった制度である。

(略)

よって、政府におかれては、中選挙区制度も含め、比例代表を中心とした民意を反映した選挙制度へ改革することを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年12月14日

奈良県議会

●がん撲滅キャンペーンに参加しました。



願いのあるところ  
どこへでも

今井光子のフォトレポート

今井光子県議の活動を写真でレポートします。議会報告活動、災害をうけたところの視察、政府や県当局への要望活動など全県的に走り回っています。

●平城宮跡の埋立・舗装工事現場の地下水位観測孔を視察。国交省職員さんの説明を受けました。(14年1月)



### がん患者のたまゆらの手記とサポート情報 『珠のコトノハ』

がん体験者やその家族、遺族、支援者の「がん体験談」手記をまとめた冊子が、NCN若草の会から発行されました(右)。

珠のコトノハ

がん患者のたまゆらの手記とサポート情報

